

平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月28日

上場会社名 東和フードサービス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸野 禎則

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループ次長 (氏名) 石塚 実

TEL 03-5843-7666

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	7,608	1.5	450	△7.8	449	△5.5	245	△2.0
25年4月期第3四半期	7,495	△0.1	488	11.0	475	11.6	250	33.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	120.45	—
25年4月期第3四半期	122.87	—

※第3四半期会計期間 売上高2,644百万円(前年同期比1.7%増)営業利益222百万円(同9.9%増)経常利益222百万円(同11.1%増)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	7,110	4,196	59.0
25年4月期	7,177	3,999	55.7

(参考)自己資本 26年4月期第3四半期 4,196百万円 25年4月期 3,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年4月期	—	10.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	3.4	643	3.9	651	6.9	366	13.0	179.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ②①以外の会計方針の変更 : 無
 ③会計上の見積りの変更 : 無
 ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	2,046,600 株	25年4月期	2,046,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	8,604 株	25年4月期	8,571 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期3Q	2,038,025 株	25年4月期3Q	2,038,110 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における外食業界は、安倍政権が誕生して1年強経過し、デフレ円高に一定の歯止めがかかったことにより、個人消費意欲に改善傾向が見られるものの、円安による輸入価格の上昇やエネルギーコストの上昇、今年4月に実施される消費税増税に対する生活防衛意識も高まり、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「客数回復、ファンづくり、質の経営」を最重要課題として、コンセプトの「あったら楽しい」店づくり、「手の届く贅沢」の提供を具現化するため、高付加価値経営に重点を置いた個店経営を展開、以下の諸施策に取り組んでまいりました。

まず、出店・業態変更では、平成25年11月に、川崎地区としてはカフェカンパニー3店舗目となる「カフェコナツ川崎ダイス店」をオープン、一体運営の確立を推進しております。また、同じく11月には、東武百貨店船橋店に、創作焼きものや「船橋こてがえし」を出店、江戸時代の船橋宿を表現した内装に、船橋市場より仕入れた旬な食材を使用したメニューや名物船橋（ご当地）やきそばなど、豊富なメニューを揃え、お好み焼き・鉄板焼きの専門店として、共食の楽しさを味わっていただいております。更に、同じ東武百貨店船橋店の「ダッキーダック」を食事性をより高めた「船橋ダッキーダックキッチン」に改称リニューアル、12月には「カフェダッキーダック八柱店」を「プロント八柱駅店」へ業態変更しております。

メニュー・販売促進面では、11月に発足した「開発部」を中心に、1年を八季に分け、季節の変化にきめ細かく対応した季節感溢れるフェアの開発、グラフィック・フードコーディネーターによる、店頭で足が止まり、目で見ると楽しさ、美しさ、味わう美味しさにつながるポスターの制作、メニューブックの制作など、スピーディーな販売促進体制の構築により、差別化を図り、お客様への訴求力を高めました。

接客サービス面では、引き続き「ありがとうコール運動」の実施、ロールプレイングを中心とした集研修の実施等により、ホスピタリティある接客サービスの向上に努めてまいりました。

また、食品安全に関わる社内の基準構築を図るため、1月より、世界標準化機構により制定されたISO22000（食品安全マネジメントシステム）認証取得に向けて準備を進めております。店舗と、店舗への製品供給生産拠点であるコンフェクショナリー（ケーキ・焼き菓子製造）、カミサリー（生麺・ソース・ドレッシング製造）、椿屋ロースター（コーヒー豆焙煎）の衛生管理及び食品安全の更なるレベルアップを目指してまいります。

以上の結果、第3四半期会計期間の売上高は、26億44百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は2億22百万円（同9.9%増）、経常利益は2億22百万円（同11.1%増）となりましたが、第3四半期累計期間については、売上高は、76億8百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は4億50百万円（同7.8%減）、経常利益は4億49百万円（同5.5%減）となりました。

なお、第4四半期は、出店及び業態変更を加速してまいります。新規出店では、3月に町田東急ツインズに「椿屋カフェ」、4月には、JR本八幡駅前に「ダッキーダックカフェ」と「ぱすたかん」、京王聖蹟桜ヶ丘クラウン街に「スパゲッティ食堂ドナ」、京王吉祥寺キラリナに「椿屋カフェ」をそれぞれ出店する予定です。また、業態変更では、3月に「スパゲッティ食堂ドナ新橋店」を「椿屋珈琲店新橋はなれ」に、4月に「スパゲッティ食堂ドナ船橋南口店」を「椿屋カフェ船橋フェイス店」へそれぞれ業態変更する予定です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度に比べて1億3百万円減少し、24億20百万円となりました。これは、現金及び預金が1億1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度に比べて35百万円増加し、46億89百万円となりました。これは、敷金が43百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて67百万円減少し、71億10百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて2億76百万円増加し、16億19百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億44百万円、未払法人税等が1億17百万円、それぞれ増加したことに対し、未払賞与が50百万円、未払金が45百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて5億41百万円減少し、12億94百万円となりました。これは、長期借入金4億57百万円、社債が60百万円、それぞれ減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2億64百万円減少し、29億13百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1億97百万円増加し、41億96百万円となりました。これは、利益剰余金が1億94百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月30日に公表いたしました、平成26年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,029	1,904,885
売掛金	62,410	71,603
S C預け金	198,273	207,368
商品及び製品	23,776	24,546
原材料及び貯蔵品	79,910	72,884
前払費用	103,739	85,487
繰延税金資産	24,871	24,871
その他	25,473	29,741
貸倒引当金	△440	△460
流動資産合計	2,524,044	2,420,927
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	885,888	888,088
工具、器具及び備品(純額)	103,582	119,147
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産(純額)	365,807	348,206
その他(純額)	8,495	14,091
有形固定資産合計	2,482,373	2,488,132
無形固定資産		
投資その他の資産	16,334	13,649
長期前払費用	17,377	13,782
繰延税金資産	147,045	145,649
差入保証金	503,045	496,594
敷金	1,461,541	1,504,859
その他	26,103	26,764
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	2,155,111	2,187,650
固定資産合計	4,653,819	4,689,433
資産合計	7,177,863	7,110,360

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,125	226,265
1年内返済予定の長期借入金	271,392	515,392
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
リース債務	146,582	144,763
未払金	340,945	295,195
未払賞与	112,465	62,084
未払費用	68,704	65,288
未払法人税等	25,996	143,039
未払消費税等	36,917	58,436
預り金	14,800	10,896
資産除去債務	5,892	6,242
リース資産減損勘定	262	105
店舗閉鎖損失引当金	—	127
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,343,131	1,619,884
固定負債		
社債	460,000	400,000
長期借入金	734,934	277,540
リース債務	261,372	237,897
退職給付引当金	265,872	263,960
資産除去債務	92,092	93,669
長期リース資産減損勘定	60	—
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,835,317	1,294,061
負債合計	3,178,448	2,913,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,660,031	2,854,566
自己株式	△19,052	△19,098
株主資本合計	3,997,328	4,191,818
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,086	4,605
評価・換算差額等合計	2,086	4,605
純資産合計	3,999,414	4,196,424
負債純資産合計	7,177,863	7,110,360

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	7,495,206	7,608,437
売上原価	1,998,705	2,057,916
売上総利益	5,496,501	5,550,520
販売費及び一般管理費	5,007,572	5,099,627
営業利益	488,929	450,893
営業外収益		
受取利息	400	174
受取配当金	470	511
受取家賃	17,816	17,776
広告料収入	5,400	5,166
その他	3,864	2,498
営業外収益合計	27,951	26,127
営業外費用		
支払利息	30,745	23,168
不動産賃貸原価	1,532	1,400
その他	9,536	3,444
営業外費用合計	41,814	28,014
経常利益	475,066	449,006
特別損失		
固定資産除却損	12,648	16,977
減損損失	13,771	5,746
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	127
特別損失合計	26,419	22,852
税引前四半期純利益	448,646	426,154
法人税等	198,216	180,668
四半期純利益	250,429	245,486

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。